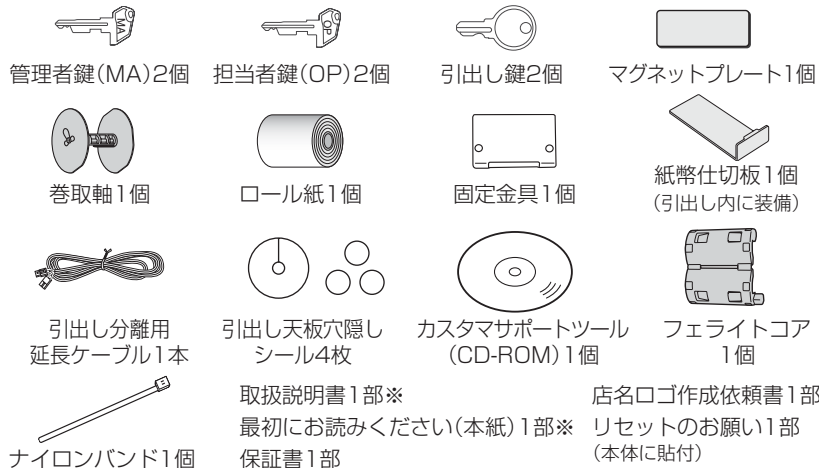


## 最初にお読みください

はじめてお使いになる前に次の準備をおこなってください。

### 1 付属品を確認する

梱包を解き、すべてそろっているか確認してください。



※当商品は日本国内向けであり、日本語以外の説明書はございません。  
 This model is designed exclusively for Japan, with manuals in Japanese only.

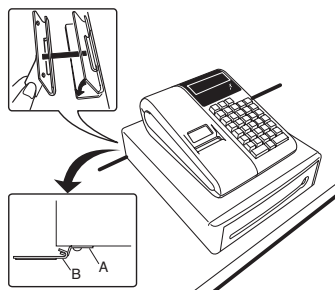
### 2 設置する

取扱説明書の「安全にお使いいただくために」をよくお読みのうえ、電源プラグを抜きやすいようコンセントの近くで、安定した台の上などぐらつかない場所に設置してください。このとき、引出し後部が浮き上がるのを防止するために、付属の固定金具を使って引出し後部を固定してください。

固定金具は、引出しの後部底面についている金具にあわせて取り付けます。

**me info** レジスタ本体と引出しは、分離して設置することができます(※76ページ)。分離して使われる場合も、引き出しは固定金具で固定してください。

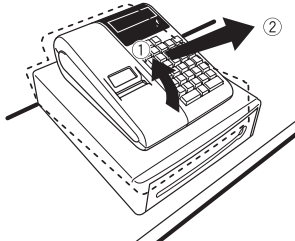
- 固定金具を取り付ける設置面をから拭きし、ほこりや汚れを拭きとります。
- 引出しの後部底面についている金具(A部)のフックに固定金具(B部)を引っかけます。
- 固定金具裏面の粘着テープの台紙をはがします。
- 固定金具を倒し、設置面に貼り付けます。



より確実に固定するために、固定金具の穴2カ所をねじ止めすることをおすすめします。ねじは市販品をご用意ください。

#### ●レジスタを取り外すときは

図のように前部を持ち上げた状態(図の矢印①)で、斜め上に引いて(図の矢印②)取り外してください。



### 3 リセットする

リセットとは:メモリに登録された内容を消し、初期状態に戻します。



- 乾電池を入れない状態で、機能切りかえスイッチに管理者鍵(MA)を差し込み、「登録」に合わせます。
- 電源プラグをコンセントに差し込みます。  
ブザーが3回鳴り、表示部に「L」と「0」が表示され、レジスタがリセットされます。

**me info** ブザーが鳴らないときは、正しくリセットされていません。電源プラグをコンセントから抜いて、1分以上待ってから、もう一度リセット操作をおこなってください。

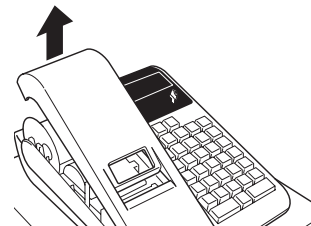
### 4 別売の乾電池を入れる

新しい単3形アルカリ乾電池3本(市販品)を用意してください。

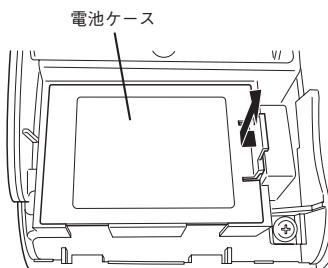
乾電池の役割は:電源プラグが抜けたときや停電のとき、設定や登録したデータが消えないようにします。

- me info** 次のようになっていることを確認してください。
- 電源プラグがコンセントに差し込まれている
  - 機能切りかえスイッチが「登録」に合せてある

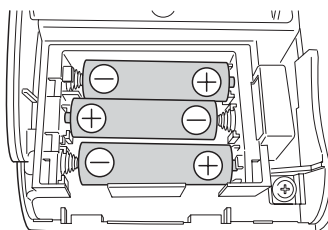
- プリンタカバーを取り外します。



- 電池ケースのフタを外します。



- 別売の乾電池3本をケースに入れます。



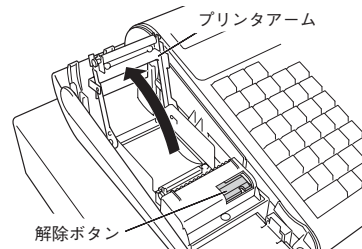
- 電池ケースのフタを取り付けます。  
正しく電池を入れると、「L」の表示が消えます。

プラス(+)とマイナス(-)を確かめて入れる

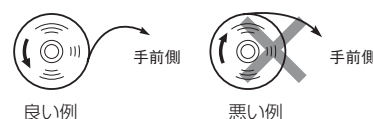
### 5 ロール紙を取り付ける

- me info** ロール紙は必ず当社推奨のもの(※取扱説明書70ページ)をご使用ください。他のロール紙をご使用になると、紙づまりを起すなど故障の原因となります。

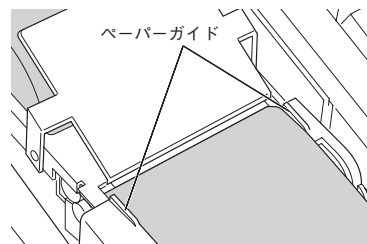
- 機能切りかえスイッチは「登録」の位置に合わせます。
- プリンタアームの解除ボタンを押し、プリンタアームに手をそえて図の位置まで上げます。
- 紙の方向に注意して、ロール紙をロール紙収納部に落とし込みます。



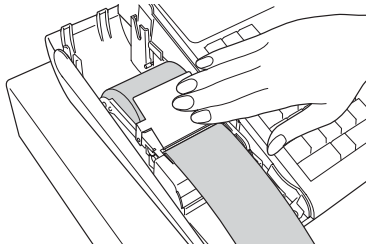
ロール紙の入れかた



- ロール紙の先端を引き出して、図のように左右のペーパーガイドの間にロール紙がきっちりおさまるように合わせます。



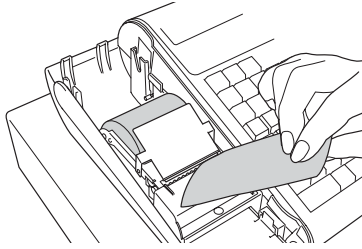
- ⑤ ロール紙を押さえながら、プリンタアームの図の位置を手で押し下げて、カチッと音がするまでしっかり押さえます。



● プリンタアームが確実に閉じてないと、正常に印字されることがあります。そのような場合は、もう一度プリンタアームを閉めなおしてください。

＜レシートとして使用するとき＞

- ⑥ 右図のように余分な紙を切り取ります。切り取りがうまくいかないときは、を押して紙を余分に送り出してから切り取ってください。

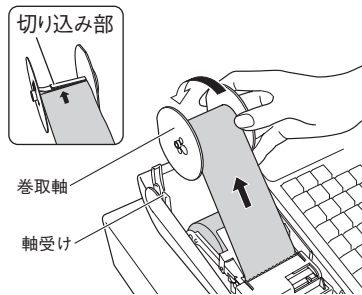


- ⑦ プリンタカバーを取り付けて完了です。

＜記録紙として使用するとき＞

- ① オモテ面①～⑤の手順にしたがって、ロール紙を入れてください。

- ② を押して、必要な長さを送り出し、ロール紙の先端を巻取軸の切り込み部に差し込み、2～3回巻き付けてから巻取軸を軸受けに取り付けます。



- ③ を押してロール紙のたるみをなくし、プリンタカバーを取り付けて完了です。

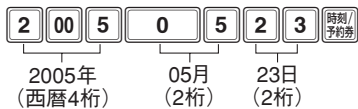
- ④ ご購入時、プリンタはレシート用として設定されています。この状態では、巻取軸がロール紙を巻き取りません。印字形式の設定(1)の印字形式を「営業記録」に変更してください。(取扱説明書46ページ)

## 6 日付と時刻を合わせる

- ① 管理者鍵(MA)で機能切りかえスイッチを“設定”の位置に合わせます。



- ② **例** 日付を2005年5月23日に合わせるとき



- 例** 時刻を15時(午後3時)5分に合わせるとき



(レシートの印字で確認します。)

● 数字を打ちまちがえたときは：を押して取り消し、正しい数字を入れなおします。  
● 2099年までのカレンダーを内蔵しています。うるう年も自動更新します。

### ●日付と時刻を確認する

機能切りかえスイッチを“登録”または“取引後訂正”の位置に合わせ、取引操作が終了しているときに、を押します。表示を消すときは、を押します。



## 7 お店に合わせて消費税を設定(変更)するには

ご購入時(またはリセット操作後)、消費税は次のように設定されています。

- 消費税率: 5%
- 課税方法: 内税課税 ● 内税の端数処理: 1円未満を四捨五入

### 内税商品のみ扱うお店……そのまま使えます

(部門1～4) (部門5～8) のすべての部門で、商品を登録すると上記課税方法で計算されるように設定されています。次の項目へ進んでください。

### 非課税商品または外税商品があるお店……設定を変更してください

非課税商品または外税商品を登録する部門を決めて、部門キーごとに設定してください。すべての商品を非課税(またはすべて外税)にしたいときは、 (部門1～4) (部門5～8) の部門キーすべての設定を変更してください。

- 消費税率を変更したいとき 取扱説明書52ページ
- 消費税の円未満の端数処理を変更したいとき 取扱説明書51ページ

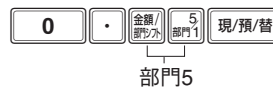
- ① 管理者鍵(MA)で機能切りかえスイッチを“設定”の位置に合わせます。



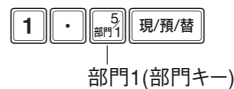
- ② **例** 1: 部門1を非課税に設定するとき



- 例** 2: 部門5を非課税に設定するとき



- 例** 3: 部門1を外税に設定するとき



- 例** 4: 部門5を外税に設定するとき



● 数字を打ちまちがえたときは：を押して取り消し、正しい数字を入れなおします。

※部門2～部門4を設定するときは、 のかわりに設定したい部門キー(～)を押します。

※部門6～部門8を設定するときは、 のかわりに設定したい部門キー(～)を押します。

設定確認の印字例 (部門1を非課税に設定したとき)

* 設定 *		
部1	非	0
部門1		071
部門番号	外: 消費税1外税対象 内: 消費税1内税対象 非: 非課税	

- ③ レシートの印字で設定を確認します。

## 乾電池の交換時期について

### ●表示部に“L”が表示されたときは

電池の残量が少なくなっています。2日以内に新しい乾電池と交換してください。

### ●表示部に“L”が表示されたときは

電池が入っていないか、電池の残量がなくなっています。電源が入っている状態のまま、ただちに新しい乾電池と交換してください。

● 必ず電源を入れた状態で新しい乾電池と交換してください。  
● “L”が表示された状態で、停電が起きたり電源プラグが抜けたらすると、設定や登録してあるデータが消えてしまいます。

これで準備ができました。機能切りかえスイッチを“登録”に合わせ、登録を始めてください。

操作のしかたは、取扱説明書の18ページからお読みください。